令和3年度　六郷小学校自己評価（後期）　結果・成果・課題・改善方法及び学校関係者の意見

評価目標指数（A＋B＝80%以上）　○：80%以上　▲：80%未満

A：とてもそう思う　B：だいたいそう思う　C：あまり思わない　D：思わない

項目	主な具体策	評価の観点		保護者				児童				教職員				成果（○）と課題（▲）	学校関係者評価委員から（課題事項について）
				前期		後期		前期		後期		前期		後期			
				A＋B	評価	A＋B	評価	A＋B	評価	A＋B	評価	A＋B	評価	A＋B	評価		
1 【知】確かな学力の育成一主体的・対話的に学習し深く学ぶ子の育成に努めます一	○基礎基本の確実な定着 ○主体的に学び自ら考える力の育成 【数値目標】 (1) 学年×10分＋10分の家庭学習に取り組む児童の割合　80% (2) 漢字力・計算力テスト合格点(80点)取得者　80%	1	漢字力・計算力テストについて 保：効果的である。 児：一生懸命に取り組んでいる。 教：合格者(80点)80%以上になるよう指導している。	97.0%	○	94.7%	○	94.0%	○	98.7%	○	100.0%	○	100.0%	○	○漢字力・計算力テストの取組については，保護者・児童とも90%以上の高評価をしており、教員も100%と積極的に指導している。 ▲学習に意欲的に取り組んでいると回答した児童は92.9%で、前期よりも3.1%下がったが、90%を超えている。また，教員は100%が主体的な授業づくりに取り組んでいると回答している。しかし、保護者の評価は、2.7%上がったものの69.7%と70%を下回る数値から十分でないと捉えている。 ▲家庭学習については，児童は96.4%が十分取り組んでいると答え、教員は77.7%と80%を下回り十分な指導ができていないと答えている。また、保護者は前期とほぼ同程度の61.8%と低い評価である。 ○タブレットPCの活用については、9月の臨時休校時のオンライン学習で使用した経験から、児童、教員とも積極的な活用をしており、評価が高い。さらに効果的な活用が期待される。	☆コロナ禍でのグループ学習、対話を通した活動等、工夫された指導が、児童の意欲につながっている。 ☆確かな学力の育成における「授業について」は、「学ぶことに意欲的、主体的である」という質問には、保護者が実際の授業の様子を参観する機会が少なく、学級での様子よりも家庭での様子を見て判断しているため、評価が低くなっているのではないか。「家庭学習について」は、低学年で身に付けた学習習慣が継続されていくので、1年生のうちから身に付けられるよう家庭との連携が重要になってくると考えられる。その差が、高学年になって大きな差になってくるのではないか。児童アンケートでは、9割を超える肯定的な回答であるが、家庭学習調査を見ると、目標時間を達成していると回答している児童は約60%と低い。
		2	授業について 保：学ぶことに意欲的・主体的である。 児：自分の考えをもつようにしている。 教：主体的協働的な授業づくりをしている。	67.0%	▲	69.7%	▲	96.0%	○	92.9%	○	100.0%	○	100.0%	○		
		3	授業中は自分の考えを整理して友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりしている。					88.0%	○	95.2%	○						
		4	家庭学習について 保：お子さんは学年×10分+10分はしている。 児：学年×10分+10分の学習をしている。 教：学年×10分+10分の家庭学習の指導・励ましをしている。	63.0%	▲	61.8%	▲	88.0%	○	96.4%	○	85.0%	○	77.7%	▲		
		5	1人1台端末の活用 児：積極的に学習で活用している。 教：児童が活用する場を設定している。					94.0%	○	94.1%	○	85.0%	○	88.8%	○		
2 【徳】豊かな心の育成一友達と協働し，心豊かに生活する子の育成に努めます一	○基本的な生活習慣の徹底 ○「安心して学校生活を送ることができる学校づくり」 ○「一人一人のよさを発揮できる特色ある教育活動の推進」 ○「心を磨く読書活動の推進」 【数値目標】 (1) 学校がすきな児童　90% (2) 読書50冊以上達成者　80%	6	気持ちのよいあいさつ・返事 保：お子さんはできている。 児：自分からできている。 教：指導をしている。	82.0%	○	85.5%	○	95.0%	○	94.1%	○	100.0%	○	100.0%	○	○あいさつ・返事については，教員の評価が100%と高く意識して指導していることがわかる。その成果もあり、児童の自己評価も前期とほぼ同様で94%と高い。保護者の評価も3%上昇している。 ▲学校では仲間と協力して活動していることについて児童は98.8%と高評価しているが、家庭で進んでお手伝いをしていることについて保護者は76.3%と80%を下回っている。	☆豊かな心の育成における「家庭で進んでお手伝いをしている」という保護者への質問については、お願いすればやる、役割として活動していても、「進んでお手伝いをしている」という表現では、保護者は否定的な回答になってしまうのではないか。また、親子間でも「あるがとう」という感謝の言葉かけがあると、より児童も積極的になるのではないか。
		7	安心して楽しく，良好な人間関係 保：学校生活を送っている。 児：友達と仲良く生活している。 教：生徒指導の充実に努めている。	93.0%	○	94.7%	○	98.0%	○	96.4%	○	100.0%	○	100.0%	○		
		8	自分から進んで仲間と協力し，楽しく活動している (保：家庭で進んでお手伝いをしている。)	80.0%	○	76.3%	▲	97.0%	○	98.8%	○						
3 【体】健やかな体の育成一明るく健康で，活力ある子の育成に努めます一	○体力の向上と健康教育の推進」 ○安全教育の推進 【数値目標】 (1) 危機回避の行動がとれる児童　90%	9	「早寝・早起き・朝ごはん」「歯磨き」について 保：お子さんは生活習慣が身に付いている。 児：できている。 教：健康教育の指導をしている。	87.0%	○	84.0%	○	96.0%	○	92.9%	○	100.0%	○	100.0%	○	▲体力向上への取組については，児童、教師,の評価は高かったものの、保護者の評価が低かった。教師側としては、コロナ感染予防策を講じながら体育の授業等運動する場を設定しているが、保護者は体力向上につながっていないと捉えている。	☆健やかな体の育成における「体力向上」については、「児童は積極的に運動や外遊びをしている」と回答しているが、体力テストの結果を見ると、平均値を下回る種目もあり、十分ではない。土日のスポーツ少年団等で活動している児童もいるが、休み時間の外遊び、体育の授業、体育委員会が中心となった取組等で、さらなる運動量の確保に向けて取り組む必要がある。特に、小さい学年のうちから取り組む必要がある。
		10	体力の向上について 保：進んで運動し，体力が向上している。 児：積極的に運動・外遊びをしている。 教：運動量を確保した体育学習をしている	70.0%	▲	65.3%	▲	89.0%	○	88.2%	○	62.0%	▲	88.8%	○		
		11	安全（生活・交通・災害・感染症）について 保：安全な行動が身に付いている。 児：安全な生活・行動をしている。 教：危機回避できるよう指導している。	97.0%	○	94.7%	○	96.0%	○	96.4	○	100.0%	○	100.0%	○		
		12	六郷小学校が好きである。					95.0%	○	97.6	○						
		13	コロナウイルス感染防止や熱中症対策に向けて気を付けながら過ごしている。					97.0%	○	98.8	○						
4　信頼と協働で結ばれた地域とともにある学校づくり		14	学校・保健だより等を発行（毎月1回）したり，学校ホームページを掲載	93.0%	○	90.7%	○					62.0%	▲	88.8%	○	○各種たより，ホームページの掲載については，保護者の評価は90%の高評価であった。教職員の評価は前期に比べて26.8%上昇し、80%を超えた。 ○いじめ未然防止・早期発見の取組については、教員から高評価が得られた。また、チーム指導や教育相談部会の実施や職員終会での情報交換による対応などが効果を発揮していること，それが保護者に認識されて高評価につながった。	
		15	保護者や地域住民と連携・協働して各種行事・登下校の見守り・安全パトロール等に取り組んでいる。	98.0%	○							100.0%	○				
		16	本校いじめ防止基本方針を理解し，いじめの未然防止・早期対応に組織として取り組んでいる。									100.0%	○	100.0%	○		
		17	教育相談部会を通して，児童のよりよい成長に取り組んでいる。									88.0%	○	100.0%	○		
		18	チーム指導について 保：お子さんは安心して過ごしている。 児：安心して過ごしている。 教：児童に気を配りながら指導している。	96.0%	○	94.7%	○	98.0%	○	97.6%	○	100.0%	○	100.0%	○		
		19	2学期制で ゆとりをもって学校生活を送っている。			73.6%	▲			95.2%	○			100.0%	○	▲2学期制については、児童、教員の評価は高かったが、保護者の評価は80%までには届かなかった。	☆2学期制については、児童や教職員にとっては、ゆとりを感じられるかもしれないが、保護者からは、そこまで感じ取ることができないため、70%代の評価になっているのではないか。
5 学び続ける教師集団「チーム六郷」について		20	自身の教員としての資質・能力の向上のために，意欲をもって取り組んでいる。									100.0%	○	100.0%	○	○教職員が、継続的に資質・能力を高めるために意欲的に取り組んでいるといえる。また、ほとんどの教職員が、学校運営のため、自分の役割分担を果たそうと積極的に取り組んでいることがわかる。	☆チーム指導については、教職員や児童がともに90%以上の高評価で、担任以外の教職員が関わることで、安心して過ごすことができていることがわかる。 ☆教育相談部会の実施については、教職員から100%の高評価を得ており、学級担任としての不安や悩みを相談する場として有効であることがわかる。
		21	自身の校務分掌を中心に組織力の向上のために学校運営への参画に取り組んでいる。									88.0%	○	100.0%	○		
		22	ワークライフバランスを考え、業務改善を意識した働き方に努めている。									100.0%	○	100.0%	○		

保護者回答率 88%　内訳：1年生（100%・12/12人）　2年生（84%・16/19人）　3年生（82%・14/17人）　4年生（92%・12/13人）　5年生（75%・15/20人）　6年生（70%・7/10人）